

次期環境基本計画素案（自然環境・鳥獣関係）について

1. 構成についての新旧比較

次期計画	現計画
第3節 豊かな自然環境の保全と自然との共生 1 自然公園等による優れた自然環境の保全と活用 <u>2 地域の特性に応じた環境の保全</u>	第2章 豊かな自然環境の保全・再生と生物多様性の確保 第2節 自然公園等による優れた自然環境保全と活用 第3節 森林、農地、湖沼、沿岸域の環境の保全と再生 第4節 都市における緑と水辺のネットワークづくり
第4節 野生生物の保護と適正管理 1 生態系の保全と希少野生生物の保護・管理 <u>2 特定外来生物の早期防除</u> <u>3 有害鳥獣対策の強化</u>	第1節 生物多様性保全に向けた総合的施策の展開 第5節 野生生物の保護と管理 1 希少な野生生物の保護対策の推進 2 外来種対策等の推進 3 野生鳥獣の保護管理

2. 次期計画のポイント

○「野生生物の保護と適正管理」について、上位計画の総合計画と同様に項目を格上げして、特定外来生物対策や有害鳥獣対策を強化しました。

【特定外来生物の早期防除】

- ・ヒアリなどの「新たな特定外来生物等の侵入への対応」を追加
(初期段階の水際対策の実施)

【有害鳥獣対策の強化】

- ・有害鳥獣対策の総合的推進
- ・「県による捕獲の実施」を追加
- ・「有害鳥獣の捕獲の担い手となる人材の確保・育成」を追加

○森林、農地、湖沼、沿岸域や都市における緑と水辺に関する部分について、「地域の特性に応じた環境の保全」として整理しました。